




2022年度(令和4年度)、川崎区は  
区制**50**周年です 

2023年(令和5年)、東海道川崎宿は  
起立**400**年を迎えます 

歴史文化と花のまち **かわさぎく**

Town of history, culture and flowers

つくってみよう! かわさき区の宝物 ペーパークラフトモデル®

KAWASAKIKU NO TAKARAMONO PAPER CRAFT MODEL

## 東海道 川崎宿



東海道川崎宿は、元和9(1623)年、徳川政府により設置された宿場町。  
慶長6(1601)年に敷かれた東海道の宿駅では、品川―神奈川宿の伝馬継立(※)が往復十里(約40km)であったため、伝馬人足の負担を減らすためにもっともおそい時期に設置されました。宝永6(1709)年、本陣職 田中休愚の尽力によって、宿が渡し船を請け負うようになると、京方面にのぼる旅人には休憩の場として、江戸にくだる旅人には六郷の渡しを控えた最後の宿泊地として栄えるようになりました。また十一代将軍徳川家斉が公式参詣して以来、川崎大師への参詣者もふえ、江戸後期には72件の旅籠が軒を連ねたほど。川崎宿は砂子・久根崎・新宿・小土呂の四村からなり(現在の小川町から六郷川)、旧東海道沿いには、旧本陣・旅籠跡などの道標のほか、芭蕉の句碑や寺社が昔をしのばせています。

※伝馬継立(てんまつぎたて)＝街道沿いに宿場を設け、宿場で人馬を乗り換えて、貨客を送り継ぐこと。

企画●川崎区企業市民交流事業推進委員会 発行●川崎市川崎区役所  
問い合わせ先●川崎区役所地域振興課 電話044-201-3127 ©2013 Kawasaki City. All rights reserved